

実施日：5～11月	
教科等：総合的な学習の時間	
取組名：みんなが幸せに暮らせる社会を作ろう	
対 象：2年生	実施場所：学校、地域、家庭
ア ねらい トライやる・ウィークの活動を通して、地域社会での SDGs や UD の取組を見つけ、誰もが大切にされる社会の在り方を考える。	
イ 指導内容（指導略案）や取組の概要 <ul style="list-style-type: none"> ・ 事前学習で、SDGs や UD について学習する。（2時間） ・ SDGs は誰のためのものか。「みんな」「すべての人」「誰もが」とはどんな人のことか。 ・ 身近にある UD を見つける。 ・ バリアフリーとインクルーシブの考え方の違いをおさえる。 ・ トライやる・ウィークで、各事業所の SDGs や UD を意識した取組を見つけ、インタビューする。トライやる活動ノートに、気付いたことやインタビューの内容を記入する。 ・ 事後の学習で、「誰もが大切にされる社会、幸せになる社会」にするために何が必要か考える。UD の心＝人権を大切に作る心、人権が大切にされてこそ、みんなが幸せになれる。 	
ウ 連携先：地域のトライやる事業所	
エ 連携にむけての取組 <ul style="list-style-type: none"> ・ 事前訪問で、生徒の学習内容や趣旨を伝え、指導や助言を依頼しておく。 ・ トライやる活動ノートの中に、SDGs や UD に関する気付きを記入するページを入れる。 	
オ 組織的な取組とその点検・評価を行う上での工夫点 <ul style="list-style-type: none"> ・ 学年で事前打ち合わせを行い、指導方法を検討する。 ・ 授業内での生徒の行動観察や意見発表、ワークシートに記入した感想などから評価する。 	
カ 評価の方法 <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業中のグループワークの観察 ・ ワークシートの点検、評価 	
キ 成果 <ul style="list-style-type: none"> ・ 聞いたことはあっても、詳しく知らなかった SDGs や UD について理解し、身近な生活の中で発見することができた。 ・ 「みんな」とか「誰もが」という言葉の中にはどんな人が含まれるのか考えさせることで、障害者や外国人、LGBTQ などマイノリティの人が特別なのではなく、誰もが同じ立場になる可能性があり、その中に自分自身も含まれることに気付くことができた。 ・ 地域社会の中にある SDGs や UD を探し見つけることで、実感をもって理解することができた。 ・ UD の心（誰一人取り残さないという思いやりや共生の考え）と人権の心（安心・安全・公平・平等・平和に生きる権利）が通じるものであることは理解できた。 	
ク 課題 <ul style="list-style-type: none"> ・ 他者の人権を尊重するという事は、まず相手の置かれている状況に気付き、その困り感を理解し、困り感をなくすために何が必要か考え実行することであるということ抑えられたが、それが差別の解消につながるというところまでは抑えることができなかった。 ・ UD は特別な人のためのものではなく、どんな人にとっても便利で当たり前に行えるようになることを前提に考えられたものであり、根底にはインクルーシブの考え方がある。それを踏まえて、みんながもつ当然の権利として捉えるだけでなく、合理的配慮を必要とする人の立場や状況を理解しながら思いやりをもって考え、行動できるようにしていく。 	